

2 節 加法定理

1 加法定理

(教科書 p.92)

サイン・コサインの加法定理

一般に, α, β がどのような角でも, 次の公式が成り立つ。

サイン・コサインの加法定理

$$[1] \quad \sin(\alpha + \beta) = \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta$$

$$[2] \quad \sin(\alpha - \beta) = \sin \alpha \cos \beta - \cos \alpha \sin \beta$$

$$[3] \quad \cos(\alpha + \beta) = \cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta$$

$$[4] \quad \cos(\alpha - \beta) = \cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta$$

例1 (1) $\sin 75^\circ = \sin(\quad + \quad)$
 $=$

ここに注意!

○ $\sin(45^\circ + 30^\circ)$
 $= \sin 45^\circ \cos 30^\circ + \cos 45^\circ \sin 30^\circ$

✕ $\sin(45^\circ + 30^\circ)$
 $= \sin 45^\circ + \sin 30^\circ$

加法定理の公式を正しく使う。

(2) $\sin 15^\circ = \sin(\quad - \quad)$
 $=$

◀ $15^\circ = 60^\circ - 45^\circ$ として
 求めることもできる。

(3) $\cos 75^\circ = \cos(\quad + \quad)$
 $=$

◀ $\cos(\alpha + \beta)$
 $= \cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta$
 符号に注意する。

問1 加法定理を用いて, 次の三角関数の値を求めなさい。

(1) $\sin 105^\circ$

(2) $\cos 15^\circ$

(3) $\cos 105^\circ$

例2 加法定理を用いて、 $\sin(\theta + 180^\circ) = -\sin \theta$ であることを確かめよう。

$$\begin{aligned} \sin(\theta + 180^\circ) &= \quad + \\ &= \end{aligned}$$

問2 加法定理を用いて、 $\cos(\theta + 180^\circ) = -\cos \theta$ であることを確かめなさい。

2 加法定理の応用

(教科書 p.94)

2 倍角の公式

2 倍角の公式

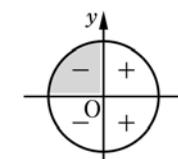
$$\begin{aligned} \sin 2\alpha &= 2 \sin \alpha \cos \alpha \\ \cos 2\alpha &= \cos^2 \alpha - \sin^2 \alpha \\ &= 1 - 2 \sin^2 \alpha \\ &= 2 \cos^2 \alpha - 1 \end{aligned}$$

例題 1 α が第 2 象限の角で、 $\sin \alpha = \frac{4}{5}$ のとき、 $\sin 2\alpha$, $\cos 2\alpha$ の値を求めなさい。

解

◀ $\sin^2 \alpha + \cos^2 \alpha = 1$ より
 $\cos^2 \alpha = 1 - \sin^2 \alpha$

◀ $\cos \alpha$ の符号



問3 α が第 1 象限の角で、 $\cos \alpha = \frac{3}{5}$ のとき、 $\sin 2\alpha$ 、 $\cos 2\alpha$ の値を求めなさい。

$a \sin \theta + b \cos \theta$ の変形

(教科書 p.95)

一般に、次のことが成り立つ。

三角関数の合成	
$a \sin \theta + b \cos \theta = \sqrt{a^2 + b^2} \sin(\theta + \alpha)$	
ただし	$\cos \alpha = \frac{a}{\sqrt{a^2 + b^2}}, \quad \sin \alpha = \frac{b}{\sqrt{a^2 + b^2}}$

例3 $\sin \theta + \cos \theta = \sqrt{2} \sin(\theta + \alpha) = \sqrt{2} \sin(\theta + \alpha)$

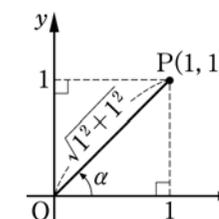
ただし、 α は

$$\cos \alpha = \frac{1}{\sqrt{2}}, \quad \sin \alpha = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

を満たす角である。

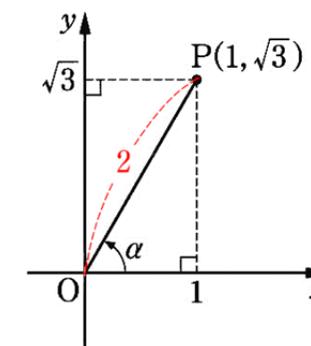
したがって、 $\alpha = (\quad)$ となるから

$$\sin \theta + \cos \theta =$$



問4 次の式を $r \sin(\theta + \alpha)$ の形に変形しなさい。

$$\sin \theta + \sqrt{3} \cos \theta$$

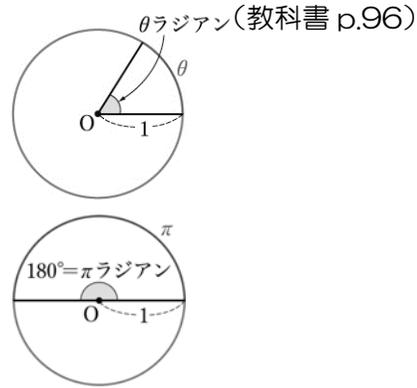


3 弧度法

これまでの角の表し方とは別に、⁽¹⁾) という角の表し方がある。

弧度法では、半径1の円で、長さ θ の弧に対する中心角の大きさを⁽²⁾) と表す。

半径1の半円の弧の長さは π であるから、その中心角は π ラジアンである。



したがって、次の式が成り立つ。

弧度法
$180^\circ = \pi$ ラジアン

$$\triangleleft 1^\circ = \frac{\pi}{180} \text{ラジアン}$$

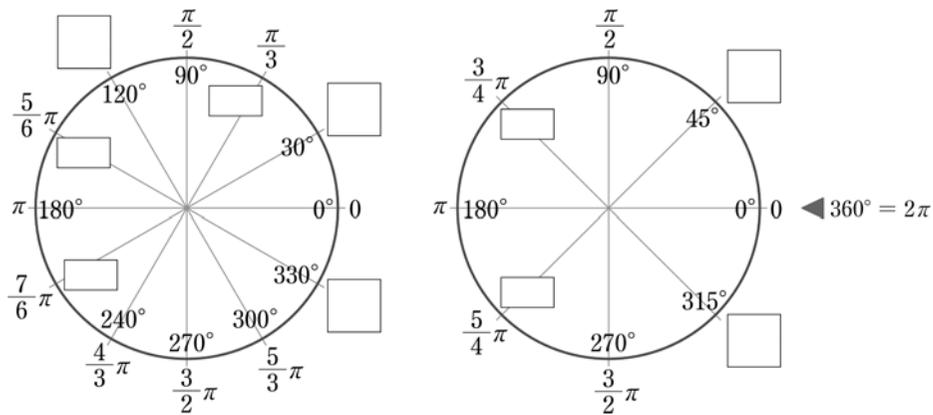
$$1 \text{ラジアン} = \frac{180^\circ}{\pi} \approx 57.3^\circ$$



例4 (1) $90^\circ = \frac{1}{2} \times (\quad)$
 $= \frac{1}{2} \times (\quad)$ ラジアン =

(2) $\frac{\pi}{6}$ ラジアン = $\frac{1}{6} \times (\quad)$ ラジアン
 $= \frac{1}{6} \times (\quad) =$

問5 次の図の にあてはまる角度を入れなさい。



例5 (1) $\sin \frac{7}{6}\pi = \sin$
 $= \sin(\quad + \quad)$
 $=$

◀ $\sin(\theta + 180^\circ) = -\sin \theta$

(2) $\cos\left(-\frac{\pi}{3}\right) = \cos(\quad)$
 $=$

◀ $\cos(-\theta) = \cos \theta$

問6 次の三角関数の値を求めなさい。

(1) $\cos \frac{7}{4}\pi$

(2) $\sin\left(-\frac{4}{3}\pi\right)$

弧度法によるおうぎ形の弧の長さ と 面積

(教科書 p.97)

半径 r , 中心角 θ のおうぎ形の弧の長さを l , 面積を S とする。 θ が弧度法で表されているとき, これらの間に成り立つ関係について調べてみよう。



弧の長さの比と (③)) の比は等しいから

$$l : 2\pi r = \theta : 2\pi$$

よって $2\pi l = 2\pi r \theta$

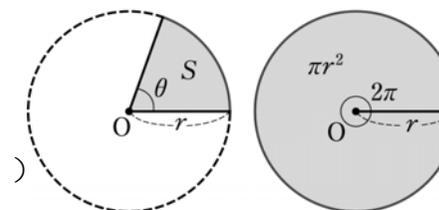
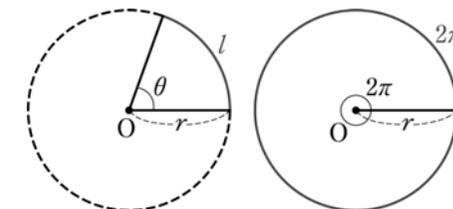
したがって $l =$ (④))

面積の比と (⑤)) の比は等しいから

$$S : \pi r^2 = \theta : 2\pi$$

よって $2\pi S = \pi r^2 \theta$

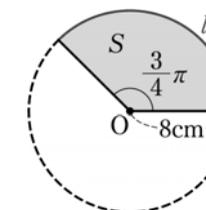
したがって $S =$ (⑥)) = (⑦))



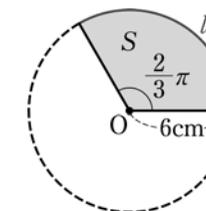
例6 半径 8cm, 中心角 $\frac{3}{4}\pi$ のおうぎ形の

弧の長さ l は $l =$

面積 S は $S =$



問7 半径 6cm, 中心角 $\frac{2}{3}\pi$ のおうぎ形の弧の長さ l と面積 S を求めなさい。



復習問題

(教科書 p.98)

1 加法定理を用いて、次の三角関数の値を求めなさい。

(1) $\sin 165^\circ$

(2) $\cos 165^\circ$

2 α が第2象限の角で、 $\cos \alpha = -\frac{1}{\sqrt{5}}$ のとき、 $\sin 2\alpha$, $\cos 2\alpha$ の値を求めなさい。

3 次の式を $r \sin(\theta + \alpha)$ の形に変形しなさい。

(1) $\sqrt{3} \sin \theta + 3 \cos \theta$

(2) $-\sin \theta + \cos \theta$

4 次の三角関数の値を求めなさい。

(1) $\cos \frac{2}{3} \pi$

(2) $\sin \frac{5}{4} \pi$

(3) $\sin \frac{11}{6} \pi$

(4) $\cos \left(-\frac{5}{6} \pi \right)$

- 5 半径 4cm, 中心角 $\frac{7}{4}\pi$ のおうぎ形の弧の長さ l と面積 S を求めなさい。

2 節 加法定理

1 加法定理

(教科書 p.92)

サイン・コサインの加法定理

一般に、 α, β がどのような角でも、次の公式が成り立つ。

サイン・コサインの加法定理

[1] $\sin(\alpha + \beta) = \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta$

[2] $\sin(\alpha - \beta) = \sin \alpha \cos \beta - \cos \alpha \sin \beta$

[3] $\cos(\alpha + \beta) = \cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta$

[4] $\cos(\alpha - \beta) = \cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta$

例1 (1) $\sin 75^\circ = \sin(45^\circ + 30^\circ)$

$$= \sin 45^\circ \cos 30^\circ + \cos 45^\circ \sin 30^\circ$$

$$= \frac{1}{\sqrt{2}} \times \frac{\sqrt{3}}{2} + \frac{1}{\sqrt{2}} \times \frac{1}{2}$$

$$= \frac{\sqrt{3} + 1}{2\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4}$$

(2) $\sin 15^\circ = \sin(45^\circ - 30^\circ)$

$$= \sin 45^\circ \cos 30^\circ - \cos 45^\circ \sin 30^\circ$$

$$= \frac{1}{\sqrt{2}} \times \frac{\sqrt{3}}{2} - \frac{1}{\sqrt{2}} \times \frac{1}{2}$$

$$= \frac{\sqrt{3} - 1}{2\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4}$$

(3) $\cos 75^\circ = \cos(45^\circ + 30^\circ)$

$$= \cos 45^\circ \cos 30^\circ - \sin 45^\circ \sin 30^\circ$$

$$= \frac{1}{\sqrt{2}} \times \frac{\sqrt{3}}{2} - \frac{1}{\sqrt{2}} \times \frac{1}{2}$$

$$= \frac{\sqrt{3} - 1}{2\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4}$$

ここに注意!

○ $\sin(45^\circ + 30^\circ)$
 $= \sin 45^\circ \cos 30^\circ + \cos 45^\circ \sin 30^\circ$

✕ $\sin(45^\circ + 30^\circ)$
 $= \sin 45^\circ + \sin 30^\circ$

加法定理の公式を正しく使う。

◀ $15^\circ = 60^\circ - 45^\circ$ として
求めることもできる。◀ $\cos(\alpha + \beta)$
 $= \cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta$
符号に注意する。

問1 加法定理を用いて、次の三角関数の値を求めなさい。

(1) $\sin 105^\circ$

$$= \sin(60^\circ + 45^\circ)$$

$$= \sin 60^\circ \cos 45^\circ + \cos 60^\circ \sin 45^\circ$$

$$= \frac{\sqrt{3}}{2} \times \frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{1}{2} \times \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$= \frac{\sqrt{3} + 1}{2\sqrt{2}}$$

$$= \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4}$$

(2) $\cos 15^\circ$

$$= \cos(45^\circ - 30^\circ)$$

$$= \cos 45^\circ \cos 30^\circ + \sin 45^\circ \sin 30^\circ$$

$$= \frac{1}{\sqrt{2}} \times \frac{\sqrt{3}}{2} + \frac{1}{\sqrt{2}} \times \frac{1}{2}$$

$$= \frac{\sqrt{3} + 1}{2\sqrt{2}}$$

$$= \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4}$$

(3) $\cos 105^\circ$

$$= \cos(60^\circ + 45^\circ)$$

$$= \cos 60^\circ \cos 45^\circ - \sin 60^\circ \sin 45^\circ$$

$$= \frac{1}{2} \times \frac{1}{\sqrt{2}} - \frac{\sqrt{3}}{2} \times \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$= \frac{1 - \sqrt{3}}{2\sqrt{2}}$$

$$= \frac{\sqrt{2} - \sqrt{6}}{4}$$

例2 加法定理を用いて、 $\sin(\theta + 180^\circ) = -\sin \theta$ であることを確かめよう。

$$\begin{aligned}\sin(\theta + 180^\circ) &= \sin \theta \cos 180^\circ + \cos \theta \sin 180^\circ \\ &= \sin \theta \times (-1) + \cos \theta \times 0 \\ &= -\sin \theta\end{aligned}$$

問2 加法定理を用いて、 $\cos(\theta + 180^\circ) = -\cos \theta$ であることを確かめなさい。

$$\begin{aligned}\cos(\theta + 180^\circ) &= \cos \theta \cos 180^\circ - \sin \theta \sin 180^\circ \\ &= \cos \theta \times (-1) - \sin \theta \times 0 \\ &= -\cos \theta\end{aligned}$$

2 加法定理の応用

(教科書 p.94)

2 倍角の公式

2 倍角の公式

$$\begin{aligned}\sin 2\alpha &= 2 \sin \alpha \cos \alpha \\ \cos 2\alpha &= \cos^2 \alpha - \sin^2 \alpha \\ &= 1 - 2 \sin^2 \alpha \\ &= 2 \cos^2 \alpha - 1\end{aligned}$$

例題 1 α が第 2 象限の角で、 $\sin \alpha = \frac{4}{5}$ のとき、 $\sin 2\alpha$ 、 $\cos 2\alpha$ の値を求めなさい。

解 $\cos^2 \alpha = 1 - \sin^2 \alpha = 1 - \left(\frac{4}{5}\right)^2 = \frac{9}{25}$

α が第 2 象限の角であるから $\cos \alpha < 0$

よって $\cos \alpha = -\sqrt{\frac{9}{25}} = -\frac{3}{5}$

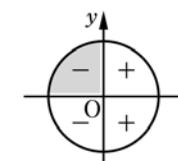
したがって

$$\sin 2\alpha = 2 \sin \alpha \cos \alpha = 2 \times \frac{4}{5} \times \left(-\frac{3}{5}\right) = -\frac{24}{25}$$

$$\cos 2\alpha = 1 - 2\sin^2 \alpha = 1 - 2 \times \left(\frac{4}{5}\right)^2 = -\frac{7}{25}$$

◀ $\sin^2 \alpha + \cos^2 \alpha = 1$ より
 $\cos^2 \alpha = 1 - \sin^2 \alpha$

◀ $\cos \alpha$ の符号



問3 α が第1象限の角で、 $\cos \alpha = \frac{3}{5}$ のとき、 $\sin 2\alpha$ 、 $\cos 2\alpha$ の値を求めなさい。

$$\sin^2 \alpha = 1 - \cos^2 \alpha = 1 - \left(\frac{3}{5}\right)^2 = \frac{16}{25}$$

α が第1象限の角であるから $\sin \alpha > 0$

$$\text{よって } \sin \alpha = \sqrt{\frac{16}{25}} = \frac{4}{5}$$

したがって

$$\sin 2\alpha = 2 \sin \alpha \cos \alpha = 2 \times \frac{4}{5} \times \frac{3}{5} = \frac{24}{25}$$

$$\cos 2\alpha = 2 \cos^2 \alpha - 1$$

$$= 2 \times \left(\frac{3}{5}\right)^2 - 1$$

$$= -\frac{7}{25}$$

[別解]

$$\cos 2\alpha = \cos^2 \alpha - \sin^2 \alpha$$

$$= \left(\frac{3}{5}\right)^2 - \left(\frac{4}{5}\right)^2$$

$$= -\frac{7}{25}$$

$$\cos 2\alpha = 1 - 2 \sin^2 \alpha$$

$$= 1 - 2 \times \left(\frac{4}{5}\right)^2$$

$$= -\frac{7}{25}$$

$a \sin \theta + b \cos \theta$ の変形

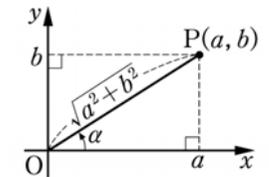
(教科書 p.95)

一般に、次のことが成り立つ。

三角関数の合成

$$a \sin \theta + b \cos \theta = \sqrt{a^2 + b^2} \sin(\theta + \alpha)$$

$$\text{ただし } \cos \alpha = \frac{a}{\sqrt{a^2 + b^2}}, \quad \sin \alpha = \frac{b}{\sqrt{a^2 + b^2}}$$



例3 $\sin \theta + \cos \theta = \sqrt{1^2 + 1^2} \sin(\theta + \alpha) = \sqrt{2} \sin(\theta + \alpha)$

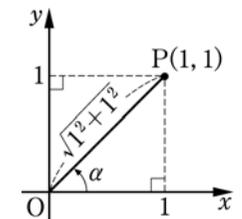
ただし、 α は

$$\cos \alpha = \frac{1}{\sqrt{2}}, \quad \sin \alpha = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

を満たす角である。

したがって、 $\alpha = (45^\circ)$ となるから

$$\sin \theta + \cos \theta = \sqrt{2} \sin(\theta + 45^\circ)$$



問4 次の式を $r \sin(\theta + \alpha)$ の形に変形しなさい。

$$\sin \theta + \sqrt{3} \cos \theta$$

$$\begin{aligned} \sin \theta + \sqrt{3} \cos \theta &= \sqrt{1^2 + (\sqrt{3})^2} \sin(\theta + \alpha) \\ &= 2 \sin(\theta + \alpha) \end{aligned}$$

ただし、 α は

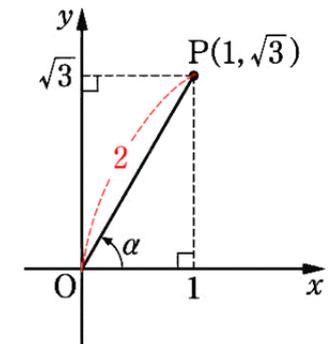
$$\cos \alpha = \frac{1}{2}$$

$$\sin \alpha = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

を満たす角である。

したがって、 $\alpha = 60^\circ$ となるから

$$\sin \theta + \sqrt{3} \cos \theta = 2 \sin(\theta + 60^\circ)$$

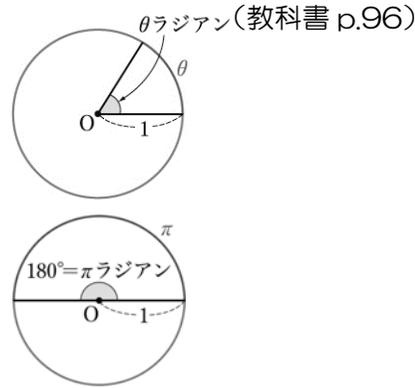


3 弧度法

これまでの角の表し方とは別に、⁽¹⁾ **弧度法** という角の表し方がある。

弧度法では、半径1の円で、長さ θ の弧に対する中心角の大きさを⁽²⁾ **θ ラジアン** と表す。

半径1の半円の弧の長さは π であるから、その中心角は π ラジアンである。



したがって、次の式が成り立つ。

弧度法
$180^\circ = \pi$ ラジアン

$$\leftarrow 1^\circ = \frac{\pi}{180} \text{ ラジアン}$$

$$1 \text{ ラジアン} = \frac{180^\circ}{\pi} \approx 57.3^\circ$$



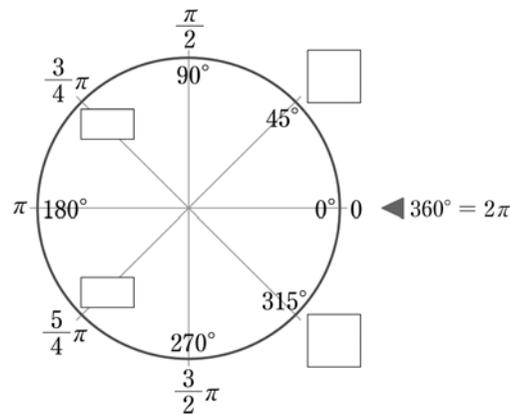
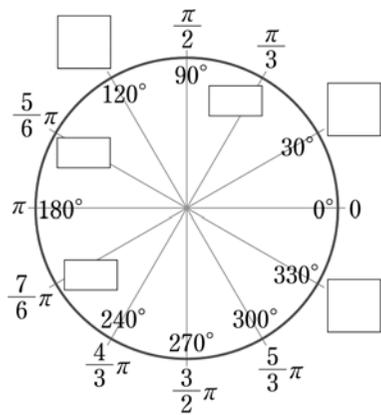
例4 (1) $90^\circ = \frac{1}{2} \times (180^\circ)$

$$= \frac{1}{2} \times (\pi) \text{ ラジアン} = \frac{\pi}{2} \text{ ラジアン}$$

(2) $\frac{\pi}{6}$ ラジアン $= \frac{1}{6} \times (\pi)$ ラジアン

$$= \frac{1}{6} \times (180^\circ) = 30^\circ$$

問5 次の図の□にあてはまる角度を入れなさい。



$$30^\circ = \frac{30}{180} \times 180^\circ = \frac{1}{6} \times \pi = \frac{\pi}{6}$$

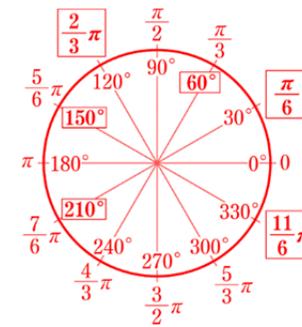
$$120^\circ = \frac{120}{180} \times 180^\circ = \frac{2}{3} \times \pi = \frac{2}{3}\pi$$

$$330^\circ = \frac{330}{180} \times 180^\circ = \frac{11}{6} \times \pi = \frac{11}{6}\pi$$

$$\frac{\pi}{3} = \frac{1}{3} \times \pi = \frac{1}{3} \times 180^\circ = 60^\circ$$

$$\frac{5}{6}\pi = \frac{5}{6} \times \pi = \frac{5}{6} \times 180^\circ = 150^\circ$$

$$\frac{7}{6}\pi = \frac{7}{6} \times \pi = \frac{7}{6} \times 180^\circ = 210^\circ$$

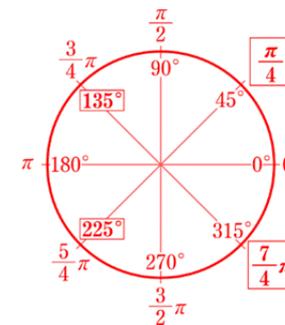


$$45^\circ = \frac{45}{180} \times 180^\circ = \frac{1}{4} \times \pi = \frac{\pi}{4}$$

$$315^\circ = \frac{315}{180} \times 180^\circ = \frac{7}{4} \times \pi = \frac{7}{4}\pi$$

$$\frac{3}{4}\pi = \frac{3}{4} \times \pi = \frac{3}{4} \times 180^\circ = 135^\circ$$

$$\frac{5}{4}\pi = \frac{5}{4} \times \pi = \frac{5}{4} \times 180^\circ = 225^\circ$$



例5 (1) $\sin \frac{7}{6}\pi = \sin 210^\circ$
 $= \sin(30^\circ + 180^\circ)$
 $= -\sin 30^\circ$
 $= -\frac{1}{2}$

(2) $\cos\left(-\frac{\pi}{3}\right) = \cos(-60^\circ)$
 $= \cos 60^\circ$
 $= \frac{1}{2}$

◀ $\sin(\theta + 180^\circ) = -\sin \theta$

◀ $\cos(-\theta) = \cos \theta$

問6 次の三角関数の値を求めなさい。

(1) $\cos \frac{7}{4}\pi$
 $= \cos 315^\circ$
 $= \cos(135^\circ + 180^\circ)$
 $= -\cos 135^\circ$
 $= \frac{1}{\sqrt{2}}$

[別解]

$\cos \frac{7}{4}\pi = \cos 315^\circ$
 $= \cos(-45^\circ)$
 $= \cos 45^\circ$
 $= \frac{1}{\sqrt{2}}$

(2) $\sin\left(-\frac{4}{3}\pi\right)$
 $= \sin(-240^\circ)$
 $= -\sin 240^\circ$
 $= -\sin(60^\circ + 180^\circ)$
 $= \sin 60^\circ$
 $= \frac{\sqrt{3}}{2}$

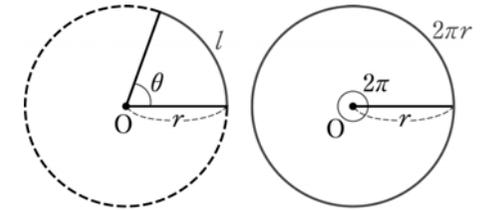
弧度法によるおうぎ形の弧の長さや面積

(教科書 p.97)

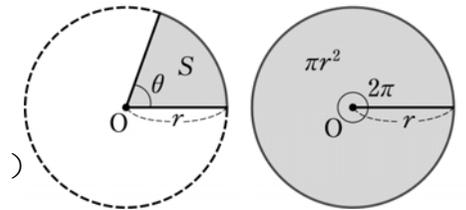
半径 r 、中心角 θ のおうぎ形の弧の長さを l 、面積を S とする。 θ が弧度法で表されているとき、これらの間に成り立つ関係について調べてみよう。



弧の長さの比と (③ **中心角**) の比は等しいから
 $l : 2\pi r = \theta : 2\pi$
 よって $2\pi l = 2\pi r\theta$
 したがって $l =$ (④ **$r\theta$**)



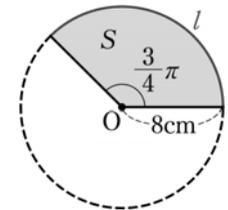
面積の比と (⑤ **中心角**) の比は等しいから
 $S : \pi r^2 = \theta : 2\pi$
 よって $2\pi S = \pi r^2 \theta$
 したがって $S =$ (⑥ **$\frac{1}{2}r^2\theta$**) = (⑦ **$\frac{1}{2}lr$**)



例6 半径 8cm、中心角 $\frac{3}{4}\pi$ のおうぎ形の

弧の長さ l は $l = 8 \times \frac{3}{4}\pi = 6\pi$ (cm)

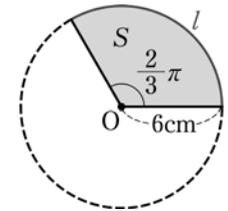
面積 S は $S = \frac{1}{2} \times 8^2 \times \frac{3}{4}\pi = 24\pi$ (cm²)



問7 半径 6cm、中心角 $\frac{2}{3}\pi$ のおうぎ形の弧の長さ l と面積 S を求めなさい。

弧の長さ $l = 6 \times \frac{2}{3}\pi = 4\pi$ (cm)

面積 $S = \frac{1}{2} \times 6^2 \times \frac{2}{3}\pi = 12\pi$ (cm²)



復習問題

(教科書 p.98)

1 加法定理を用いて、次の三角関数の値を求めなさい。

(1) $\sin 165^\circ$

$$\begin{aligned}
 &= \sin(120^\circ + 45^\circ) \\
 &= \sin 120^\circ \cos 45^\circ + \cos 120^\circ \sin 45^\circ \\
 &= \frac{\sqrt{3}}{2} \times \frac{1}{\sqrt{2}} + \left(-\frac{1}{2}\right) \times \frac{1}{\sqrt{2}} \\
 &= \frac{\sqrt{3} - 1}{2\sqrt{2}} \\
 &= \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4}
 \end{aligned}$$

(2) $\cos 165^\circ$

$$\begin{aligned}
 &= \cos(120^\circ + 45^\circ) \\
 &= \cos 120^\circ \cos 45^\circ - \sin 120^\circ \sin 45^\circ \\
 &= \left(-\frac{1}{2}\right) \times \frac{1}{\sqrt{2}} - \frac{\sqrt{3}}{2} \times \frac{1}{\sqrt{2}} \\
 &= \frac{-1 - \sqrt{3}}{2\sqrt{2}} \\
 &= \frac{-\sqrt{2} - \sqrt{6}}{4}
 \end{aligned}$$

2 α が第 2 象限の角で、 $\cos \alpha = -\frac{1}{\sqrt{5}}$ のとき、 $\sin 2\alpha$, $\cos 2\alpha$ の値を求めなさい。

$$\sin^2 \alpha = 1 - \cos^2 \alpha = 1 - \left(-\frac{1}{\sqrt{5}}\right)^2 = \frac{4}{5}$$

 α が第 2 象限の角であるから $\sin \alpha > 0$

$$\text{よって } \sin \alpha = \sqrt{\frac{4}{5}} = \frac{2}{\sqrt{5}}$$

したがって

$$\begin{aligned}
 \sin 2\alpha &= 2 \sin \alpha \cos \alpha \\
 &= 2 \times \frac{2}{\sqrt{5}} \times \left(-\frac{1}{\sqrt{5}}\right) \\
 &= -\frac{4}{5}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \cos 2\alpha &= 2 \cos^2 \alpha - 1 \\
 &= 2 \times \left(-\frac{1}{\sqrt{5}}\right)^2 - 1 \\
 &= -\frac{3}{5}
 \end{aligned}$$

〔別解〕

$$\begin{aligned}
 \cos 2\alpha &= \cos^2 \alpha - \sin^2 \alpha \\
 &= \left(-\frac{1}{\sqrt{5}}\right)^2 - \left(\frac{2}{\sqrt{5}}\right)^2 \\
 &= -\frac{3}{5}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \cos 2\alpha &= 1 - 2 \sin^2 \alpha \\
 &= 1 - 2 \times \left(\frac{2}{\sqrt{5}}\right)^2 \\
 &= -\frac{3}{5}
 \end{aligned}$$

3 次の式を $r \sin(\theta + \alpha)$ の形に変形しなさい。

(1) $\sqrt{3} \sin \theta + 3 \cos \theta$

$$\begin{aligned} & \sqrt{3} \sin \theta + 3 \cos \theta \\ &= \sqrt{(\sqrt{3})^2 + 3^2} \sin(\theta + \alpha) \\ &= \sqrt{12} \sin(\theta + \alpha) \\ &= 2\sqrt{3} \sin(\theta + \alpha) \end{aligned}$$

ただし, α は

$$\begin{aligned} \cos \alpha &= \frac{\sqrt{3}}{2\sqrt{3}} \\ &= \frac{1}{2} \\ \sin \alpha &= \frac{3}{2\sqrt{3}} \\ &= \frac{\sqrt{3}}{2} \end{aligned}$$

を満たす角である。

したがって, $\alpha = 60^\circ$ となるから

$$\sqrt{3} \sin \theta + 3 \cos \theta = 2\sqrt{3} \sin(\theta + 60^\circ)$$

(2) $-\sin \theta + \cos \theta$

$$\begin{aligned} & -\sin \theta + \cos \theta \\ &= \sqrt{(-1)^2 + 1^2} \sin(\theta + \alpha) \\ &= \sqrt{2} \sin(\theta + \alpha) \end{aligned}$$

ただし, α は

$$\begin{aligned} \cos \alpha &= -\frac{1}{\sqrt{2}} \\ \sin \alpha &= \frac{1}{\sqrt{2}} \end{aligned}$$

を満たす角である。

したがって, $\alpha = 135^\circ$ となるから

$$-\sin \theta + \cos \theta = \sqrt{2} \sin(\theta + 135^\circ)$$

4 次の三角関数の値を求めなさい。

(1) $\cos \frac{2}{3}\pi$

$$\begin{aligned} &= \cos 120^\circ \\ &= -\frac{1}{2} \end{aligned}$$

(2) $\sin \frac{5}{4}\pi$

$$\begin{aligned} &= \sin 225^\circ \\ &= \sin(45^\circ + 180^\circ) \\ &= -\sin 45^\circ \\ &= -\frac{1}{\sqrt{2}} \end{aligned}$$

(3) $\sin \frac{11}{6}\pi$

$$\begin{aligned} &= \sin 330^\circ \\ &= \sin(-30^\circ) \\ &= -\sin 30^\circ \\ &= -\frac{1}{2} \end{aligned}$$

[別解]

$$\begin{aligned} \sin \frac{11}{6}\pi &= \sin 330^\circ \\ &= \sin(150^\circ + 180^\circ) \\ &= -\sin 150^\circ \\ &= -\frac{1}{2} \end{aligned}$$

(4) $\cos\left(-\frac{5}{6}\pi\right)$

$$\begin{aligned} &= \cos(-150^\circ) \\ &= \cos 150^\circ \\ &= -\frac{\sqrt{3}}{2} \end{aligned}$$

- 5 半径 4cm, 中心角 $\frac{7}{4}\pi$ のおうぎ形の弧の長さ l と面積 S を求めなさい。

$$\text{弧の長さ } l = 4 \times \frac{7}{4}\pi = 7\pi \text{ (cm)}$$

$$\text{面積 } S = \frac{1}{2} \times 4^2 \times \frac{7}{4}\pi = 14\pi \text{ (cm}^2\text{)}$$